

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 5 月 9 日 (2013.5.9)

【公開番号】特開 2011-195824 (P2011-195824A)

【公開日】平成 23 年 10 月 6 日 (2011.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-040

【出願番号】特願 2011-36630 (P2011-36630)

【国際特許分類】

C 0 8 L 81/02 (2006.01)

C 0 8 L 53/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 8 K 7/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 81/02

C 0 8 L 53/00

C 0 8 L 23/08

C 0 8 K 3/00

C 0 8 K 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 3 月 27 日 (2013.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 7 】

なお、(B) エチレンと炭素原子数 3 ~ 2 0 の - オレフィンとからなるエチレン・
- オレフィン系ブロック共重合体、(C) 官能基含有オレフィン系共重合体、(D) 無機
充填材およびその他添加剤としては、それぞれ下記のものを使用した。

B 1 エチレン・1 - オクテンブロック共重合体 (ダウケミカル社製インフューズ 9 1 0
7、密度 8 6 6 k g / m³、融点 1 2 1 、ガラス転移点 - 6 2)

B 2 エチレン・1 - オクテンブロック共重合体 (ダウケミカル社製インフューズ 9 1 0
0、密度 8 7 7 k g / m³、融点 1 2 0 、ガラス転移点 - 6 2)

B 3 エチレン・1 - オクテンブロック共重合体 (ダウケミカル社製インフューズ 9 8 0
7、密度 8 6 6 k g / m³、融点 1 1 8 、ガラス転移点 - 6 2)

b 1 (比較例) エチレン・1 - ブテンランダム共重合体 (三井化学 (株) 社製タフマー
T X 6 5 0、密度 8 6 4 k g / m³、融点無し、ガラス転移点 - 6 4)

b 2 (比較例) エチレン・1 - ヘキセンランダム共重合体 (三井化学 (株) 社製エクセ
レン F X C X 2 0 0 1、密度 8 9 8 k g / m³、融点 9 4 、ガラス転移点不明)

b 3 (比較例) エチレン・1 - オクテンランダム共重合体 (ダウケミカル社製エンゲー
ジ 8 1 0 0、密度 8 7 0 k g / m³、融点無し、ガラス転移点 - 5 5)

C 1 エチレン・グリシジルメタクリレート共重合体 (住友化学 (株) 社製ボンドファース
ト E、密度 9 4 0 k g / m³、融点 1 0 3 、ガラス転移点 - 2 6)

D 1 チョップドストランド (日本電気硝子 (株) 社製 T - 7 4 7 3 m m 長、平均繊維径
1 3 μ m)

その他添加剤 E 1 脂肪酸エステルワックス (クラリアントジャパン社製リコワックス E
)。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) ポリフェニレンスルフィド樹脂 100 重量部に対し、(B) エチレンと炭素原子数 3 ~ 20 の - オレフィンとからなるエチレン・ - オレフィン系ブロック共重合体 1 ~ 100 重量部を配合してなることを特徴とするポリフェニレンスルフィド樹脂組成物。

【請求項 2】

(B) の融点が 100 以上かつガラス転移点が - 50 以下であることを特徴とする請求項 1 記載のポリフェニレンスルフィド樹脂組成物。

【請求項 3】

(A) ポリフェニレンスルフィド樹脂 100 重量部に対し、(C) エポキシ基、酸無水物基、カルボキシル基およびその塩、カルボン酸エステルから選ばれる少なくとも 1 種の官能基を含有する官能基含有オレフィン系共重合体 1 ~ 100 重量部を配合してなる請求項 1 または 2 記載のポリフェニレンスルフィド樹脂組成物。

【請求項 4】

(A) ポリフェニレンスルフィド樹脂 100 重量部に対し、(D) 無機充填材 1 ~ 400 重量部を配合してなる請求項 1 ~ 3 のいずれか記載のポリフェニレンスルフィド樹脂組成物。

【請求項 5】

(D) の無機充填材がガラス繊維、ガラスビーズ、ガラスフレーク、炭酸カルシウムから選ばれる少なくとも 1 種である請求項 1 ~ 4 のいずれか記載のポリフェニレンスルフィド樹脂組成物。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 いずれかに記載のポリフェニレンスルフィド樹脂組成物からなる成形品。

【請求項 7】

成形品が水廻り部品である請求項 6 記載の成形品。